

2024年12月19日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

コース名	2024年 12月18日 基準価額(円)	2024年 12月19日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
ツインα・コース	216	203	▲13	▲6.02
シングルα・米ドルコース	924	869	▲55	▲5.95

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2024年 12月17日 指数値	2024年 12月18日 指数値	騰落率 (%)
iシェアーズ MSCI ブラジル ETF(米ドル建て)	24.00	22.40	▲6.67

(小数点第3位四捨五入)

	2024年 12月17日 (円)	2024年 12月18日 (円)	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	153.54	154.05	0.33

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、2024年12月17日と2024年12月18日と比較しています。

為替レートはWMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレート(単位:円)です。

出所:ブルームバーグ

◆ 足許の市場動向

ブラジル株式市場は、2024年10月以降にIPCA(拡大消費者物価指数)の伸びが加速し、政策金利が引き上げられたことや、ブラジル政府の財政支出への懸念が高まったことなどにより、下落基調で推移しています。11月下旬には財政支出削減計画が発表されましたが、その内容に所得税軽減措置が盛り込まれ財政赤字を巡る懸念が一段と強まったことや12月11日と12日にブラジル中央銀行が開催した金融政策委員会において政策金利を1.00%引き上げたことなどから、ブラジル株式市場は大きく下落しました。12月18日のFOMC(米連邦公開市場委員会)で2025年の米国の利下げ見通しに関してタカ派の姿勢を示されたことから、ブラジルリアルが下落し、ブラジル株式市場も下落する展開となりました。

このような市況の下、ファンドの基準価額は前営業日比5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

米国では利下げ局面を迎えています。予想よりも慎重な利下げ姿勢である中、ブラジル国内においては、財政赤字への懸念が高まっていることや、インフレ収束のための政策金利の引き上げが予想されることなどから、当面は株式市場の変動性が高まる展開が続くと見込まれます。一方、米国のトランプ新政権下での規制緩和や減税などの政策から経済活性化への期待感が高まっていることや、ブラジルにとって重要な貿易相手国である中国における景気刺激策への期待が高まっていることはブラジル株式市場にとってプラスに寄与するとみられます。中長期的な観点では、若年層の構成比が高い人口構造を有するブラジルにおいて、国内消費の伸びやインフラ投資の拡大などを通じた内需主導の経済成長が見込まれ、株式市場についても成長軌道に乗っていくと見込んでいます。

以上

※iShares®(iシェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

《ご注意》

上記は一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクはそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。

ファンドに係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・0.30%

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・ファンド:年1.463%(税込)

実質的な負担:年1.813%(税込)程度

(ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、受益者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。